

“Pancreatic Mucoepidermoid Carcinoma” Is not
a Pancreatic Counterpart of CRTC1/3-MAML2
Fusion Gene-related Mucoepidermoid Carcinoma of
the Salivary Gland, and May More Appropriately
be Termed Pancreatic Adenosquamous Carcinoma
With Mucoepidermoid Carcinoma-like Features

佐伯, 潔

<https://hdl.handle.net/2324/2236109>

出版情報 : Kyushu University, 2018, 博士 (医学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (2)



氏 名：佐伯 潔

論 文 名：“Pancreatic Mucoepidermoid Carcinoma” Is not a Pancreatic Counterpart of CRTC1/3-MAML2 Fusion Gene-related Mucoepidermoid Carcinoma of the Salivary Gland, and May More Appropriately be Termed Pancreatic Adenosquamous Carcinoma With Mucoepidermoid Carcinoma-like Features

（“膵粘表皮癌”は唾液腺の CRTC1/3-MAML2 融合遺伝子関連粘表皮癌の膵臓におけるカウンターパートではなく、粘表皮癌様の特徴を有する膵腺扁平上皮癌の方が名称としてより適切である。）

区 分：甲

論 文 内 容 の 要 旨

背景

“粘表皮癌(MEC)”は膵腺扁平上皮癌(ASC)の同義語として認識されている。膵 ASC は唾液腺型の MEC 様の形態を示しうる。CRTC1/3-MAML2 融合遺伝子は唾液腺 MEC に特有な分子学的特徴である。我々は、唾液腺型の MEC 様の形態を有する膵腺扁平上皮癌(Pan-MEC)が唾液腺 MEC(Sal-MEC)の膵臓におけるカウンターパートであるかどうかを明らかにするためにこの研究を行った。

材料及び手法

我々は、16 例の Pan-MECs と MEC 様の特徴を有さない 21 例の腫瘍(ASC-NOS(not otherwise specified))を含む 37 例の膵腺扁平上皮癌を後ろ向きに解析し、(1)臨床病理学的特徴、(2)RT-PCR による CRTC1/3-MAML2 融合遺伝子の有無、(3)蛍光 in situ hybridization(FISH)による MAML2 遺伝子の再構成の有無、(4)免疫組織化学染色(IHC)による粘液コア蛋白に関して調査を行った。

結果

Pan-MEC と ASCs-NOS 間で臨床病理学的特徴及び生存解析において有意差は認められなかった。特筆すべきことに、膵 ASC(Pan-MEC および ASC-NOS を含む)は通常型膵腺癌よりも有意に活動性の高い腫瘍であった。さらに、全ての Pan-MECs は組織学的に high-grade な腫瘍であった。Pan-MECs を含むいずれの膵腺扁平上皮癌においても CRTC1/3-MAML2 融合遺伝子および MAML2 遺伝子再構成は認められなかった。

Pan-MECs と Sal-MECs の間で MUC5AC と MUC6 において有意差が認められたが、Pan-MECs と ASCs-NOS との間には粘液コア蛋白の発現に有意差は認められなかった。

考察

Pan-MEC は CRTC1/3-MAML2 融合遺伝子関連の Sal-MEC とは違い、組織学的にも分子生物学的にも high-grade な腫瘍であり、CRTC1/3-MAML2 融合遺伝子とは関連がない。Pan-MEC は CRTC1/3-MAML2 融合遺伝子関連 Sal-MEC の臓におけるカウンターパートではない。